

西オーストラリア州関連データハイライト

- 7月の西オーストラリア州の雇用者数は2万3,900人減少し、失業率は4.4%へとわずかに上昇した。
- パースの消費者物価指数(CPI)は7月に1.1%上昇し、前年同月比では3.8%の上昇となった。
- 西オーストラリア州の不動産最終需要は第2四半期に1.0%増加し、前年同期比では3.6%増となった。
- 8月のCotalityパース住宅価格指数は0.8%下落し、年間伸び率は15.6%に鈍化した。

2026年第2四半期における西オーストラリア州の実質最終需要

- 2026年第2四半期、西オーストラリア州の実質最終需要は季節調整済みで1.0%増加し、前年比伸び率は第1四半期までの伸び率3.0%から3.6%に上昇した。これは、同四半期における全国需要伸び率0.3%、前年比3.1%を大幅に上回るものだった。

四半期成長率

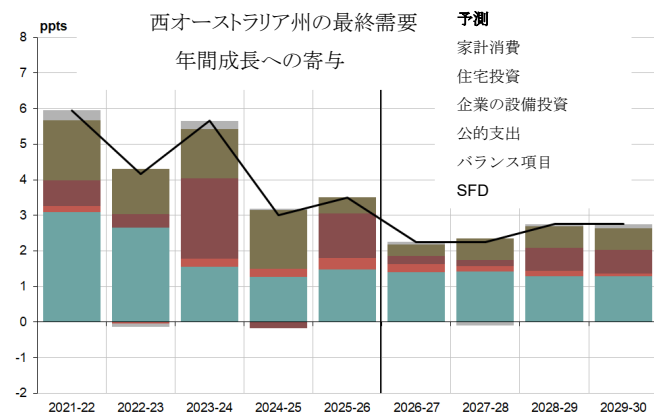
- 第2四半期の民間部門の需要は1.0%増加し、総成長率に0.8パーセンテージポイント寄与した。
- 家計消費が最大の寄与要因となり、四半期比で1.0%増加し、同四半期の成長率を0.5パーセンテージポイント押し上げた。
- 家計部門の自動車購入が18.1%増加したことが、家計消費の伸びの最大要因となった。この自動車購入の急増は、燃料費の高騰を背景に、オーストラリア全土で電気自動車(EV)およびハイブリッド車の購入が伸び、当四半期の新車販売台数のほぼ半分を占めたことが一因と考えられる。
- 民間設備投資は第2四半期に1.8%増加し、4四半期連続の増加となり、成長率に0.4パーセンテージポイント寄与した。民間住宅投資は、第1四半期に9年ぶりの高水準に達した後、1.0%減少した。
- 第2四半期の公共部門の最終需要は1.1%増加し、総成長率に0.3パーセンテージポイント寄与した。政府消費支出が1.6%増加した一方、公共投資が1.3%減少したことで、その増加分の一部が相殺された。

2025-26年度の成長率

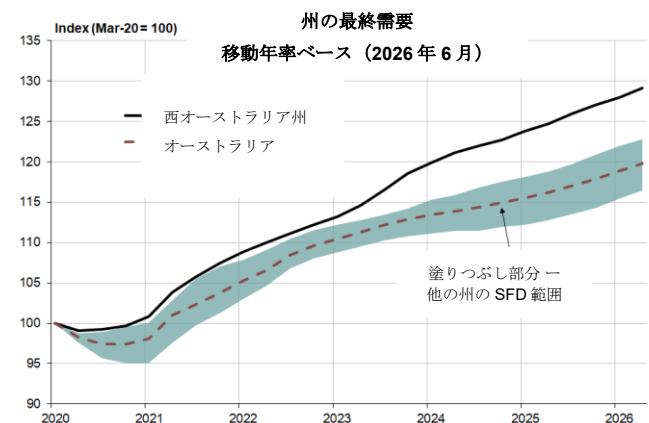
- 2025-26会計年度における西オーストラリア州の実質最終需要は、3.5%増加した。
- 民間最終需要は4.1%増加し、家計消費の3.0%増、民間設備投資の6.5%増、住宅投資の9.2%増がいずれも堅調な寄与を果たした。
- 公共部門の需要は、政府消費が3.9%増加した一方で、2024-25年度の10.4%の急増後に公共部門投資が6.3%減少したことで一部相殺され、前年比で1.7%の増加にとどまった。

好調なパフォーマンス

- 西オーストラリア州は、オーストラリアの各州の中でも引き続き好調を維持しており、2020年3月から2026年6月までの移動年率ベースで、国内需要の伸び率が20%であったのに対して、同期間における同州の実質最終需要の伸び率は29%であった。



出典：オーストラリア統計局 (ABS) / 西オーストラリア州財務省



出典：ABS

オーストラリア金利(%)			外国為替と株価		
RBA 政策金利目標	4.35	(0 pt)	AUD/USD	0.7167	(↑ 2.1%)
90 日銀行手形	4.55	(↑ 5 pt)	AUD/JPY	114.49	(↑ 3.7%)
連邦政府 3 年国債	4.66	(↑ 17 pt)			
連邦政府 10 年国債	5.09	(↑ 17 pt)	ASX200	9076	(↑ 99 pt)

市場概況

- オーストラリア準備銀行(RBA)の金融政策委員会は、8月の会合で政策金利の目標水準を据え置いたが、インフレ率を持続的に目標水準に戻すために必要であれば、さらに利上げを行う方針を改めて表明した。
- 8月においては、7月のインフレ率が予想を上回ったことで、オーストラリア準備銀行(RBA)による追加の政策金利引き上げへの期待が高まり、オーストラリア国債の利回りは上昇した。現在、トレーダーらは9月28～29日に開催される次回のRBA会合で25ベースポイントの利上げが行われる確率を約50%と織り込んでおり、年末までにさらなる利上げが行われることも完全に織り込まれている。
- 利上げ期待の高まりを受け、豪ドルは3か月ぶりの高値である1豪ドル=0.7194米ドルまで上昇したが、月末にかけて米ドルが全般的に強含んだことで、AUD/USDは小幅に下落した。豪ドルは対円でも上昇し、6月2日以来の高値である1豪ドル=114.74円を記録したが、8月下旬には反落した。
- ASX 200 指数は8月に1.1%上昇し、5か月連続の上昇を記録した。この上昇を牽引したのは金属・鉱業セクターで、次いでヘルスケアセクターが続いた。

WATC 指標銘柄債券の利回り				
満期	利回り 2026 年 8 月 31 日		AGS スプレッド 2026 年 8 月 31 日	
2027 年 10 月 21 日	4.79	(↑ 14 pt)	+7 pt	(↓ 1 pt)
2028 年 7 月 20 日	4.83	(↑ 16 pt)	+13 pt	(↓ 2 pt)
2029 年 7 月 24 日	4.85	(↑ 15 pt)	+20 pt	(↓ 1 pt)
2030 年 10 月 22 日	4.93	(↑ 15 pt)	+24 pt	(↓ 1 pt)
2031 年 10 月 22 日	5.02	(↑ 13 pt)	+29 pt	(↓ 1 pt)
2032 年 7 月 21 日	5.09	(↑ 12 pt)	+30 pt	(↓ 3 pt)
2033 年 7 月 20 日*	5.19	(↑ 11 pt)	+33 pt	(↓ 5 pt)
2034 年 10 月 24 日	5.36	(↑ 10 pt)	+36 pt	(↓ 5 pt)
2035 年 10 月 24 日*	5.43	(↑ 10 pt)	+37 pt	(↓ 5 pt)
2037 年 10 月 21 日	5.66	(↑ 10 pt)	+54 pt	(↓ 4 pt)
2039 年 10 月 24 日*	5.81	(↑ 10 pt)	+59 pt	(↓ 1 pt)
2041 年 7 月 23 日	5.90	(↑ 11 pt)	+61 pt	(↓ 2 pt)

*グリーンボンド

